➢ 防護柵

課題	・車両の通行速度が高く、車道外に逸脱する危険がある。
対策内容	主に車道と歩道の境界に防護柵を設置し、歩行者と車両を分離する。
効果	自動車が車道から逸脱することを防止することにより、歩行者等の通行の安全性の確保が図られる。

歩道への車止めの設置（関東地方整備局甲府河川国道事務所）	
○対策前	○対策後
・交通量が多く、スピードを出している車が多いため、歩行者が危険な状況。	・車止めを設置することで車の巻込み防止を図り、児童の安全な通行空間を確保。